

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	30-2	
PDCA	主要事業名	亀崎小学校改築等事業	部課名	教育部学校教育課	担当	羽根		
					内線	518		
P	総合計画： 1 - 1 - 3 単位施策： 義務教育 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 8 年度 全体事業費等： 3,743,753 千円						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	会計		一般会計		歳出科目： 09.02.03.02.50			
	事業概要等		事業概要： 亀崎小学校の校舎南棟・中棟の改築（建替え）、北棟の大規模改修、体育館の改築（建替え）を行う。					
			事業目的： 老朽化した学校施設を計画的に更新し、教育環境の向上を図る。					
			事業内容： 老朽化した学校施設（校舎・体育館）の改築・大規模改修を行う。					
			問題点・ 全ての学校施設の老朽化等を踏まえ、学校に求められる機能を確保しつつ、課題等： ライフサイクルコストの削減や予算の平準化を図ることが必要である。					
	予算額		主要事業とする理由					
	255,338 千円		老朽化した公共施設の更新等による財政需要の増大が見込まれることから、学校に求められる機能を確保しつつ、限られた財源の中で計画的に施設更新を行うことが必要なため。					
	財源内訳		得られる成果					
	市費		全体的な学校施設の更新を行うことで、児童の安全安心の確保とともに教育環境の向上が図られる。					
	253,630 千円							
	国費							
	1,708 千円							
	県費							
	0 千円							
その他								
0 千円								
D 値得られた成果と実績	決算額		得られた成果					
	167,926 千円		校舎等改築工事を進めていくための実施設計が完了し、計画どおり事業を進めることができた。					
			成果指標					
			実績値		令和5年度	単位		
	実施設計進捗率		目標値		100.0	%		
C 課題の整理	事業の評価・課題		B 実施設計を計画どおり完了することができた。設計にあたっては、新たに放課後ひろばや放課後児童クラブを併設するとともに、他学年の児童と交流できる共有スペースを設けるなど、令和4年度に実施したワークショップの意見等を反映させることができた。					
A 今後課題の解決に向けた	今後の事業の方向性		現状維持 令和7年度（令和8年1月）の新校舎等の供用開始に向けて、新校舎建設工事や旧校舎解体工事などを着実に進める。					
	観点別評価		必要性		有効性		効率性	
			①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
			②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない		
			③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用